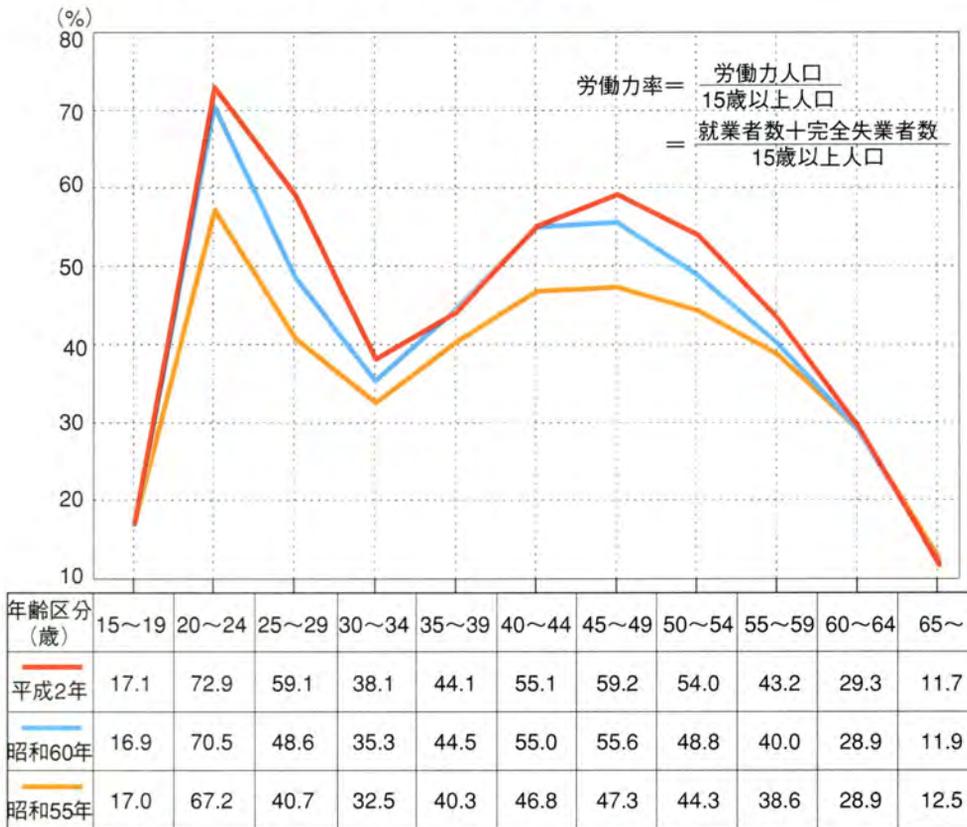


## 横浜市の年齢階級別女性労働力率

「国勢調査」

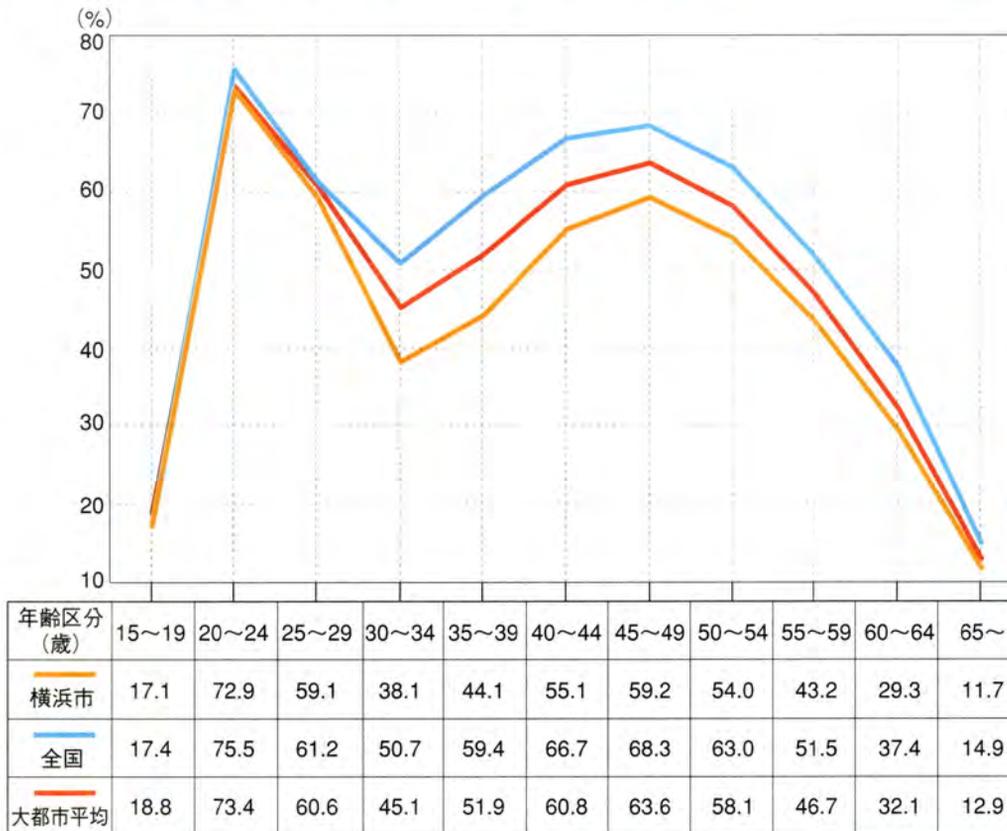


# 女性と仕事

仕事・職場

## 女性労働力率・大都市、全国との比較

「国勢調査」



・横浜市の女性の労働力率は、ほとんどの年齢階層で年々高まっている。昭和五十五年と平成二年で比較すると四十五〜四十九歳で一・九ポイント上昇しているが、三十〜三十四歳では五・六ポイントの上昇にとどまっている。  
 ・全国や大都市平均と比較すると、横浜市の女性労働力率はM字の谷が深く、二番目のピークが低い。

相変わらず忙しそうですね。いつ電話をかけてもつかまらないので心配しています。「私は総合職だから」と言って男性の向こうを張って、いや、それ以上に頑張っているあなたを見ているので、いつ倒れてもおかしくないって思うし…。

私自身、体をこわしてしまったから言うわけでもないけれど、倒れてしまいう前に、手を打ってください。

それと、もう一つ心配しています。仕事か、女性としての生き方か、どちらかしか選べないというあなたの言葉です。

身近にいる女性総合職でも、お子さんのいる人もいるじゃないの、と言う私の言葉に、彼女たちは実家が近いから、って笑っていましたよね。確かに、彼女たちは、夫や実家の全面的な理解と協力を得ていると思います。だから、残業もつきあひも、こなせていると思います。

でも、あなたが実家が遠いというだけで、仕事しか選べないなんて。それって、おかしい。雇用機会均等法だなんてもはやされて採用だけされても、その後の生き方が、条件によって決められてしまうのですか？ みんな、いろいろな事情があったりもするけれど、生き方は選びたいよね。

私、仕事続けられなくて、専業主婦におさまってしまっています。でも、主婦も強いよ。いろんなネットワーク使ってお互いがやりたいことサポートしあったりしてる。仕事だけじゃなくてね。劇団つくって公演したり、農家と直接交渉して無農薬野菜つくってもらったり。最近、そういうパワ―に圧倒されています。

結婚して、子どもが欲しくなったら、私、協力できるから。子育ても今経験中だし、あてにしてくれていいよ。そういう形で協力することも、私にとっては社会参加。違ったら申し訳ないんだけど、結婚したい人がいるのではありませんか？

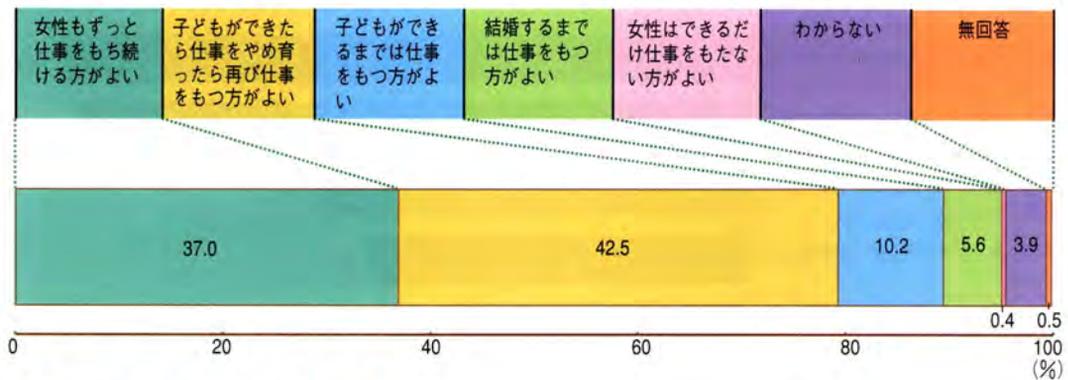
もし、そうだったら、仕事か結婚かなんて悩まないで、両方選んでね。応援するから。

それだけ、どうしても伝えたくて手紙を書きました。今度ご飯を食べに来てね。料理だって、少しはうまくなったよ。

(泉区 S・Kさん 三十五歳)

## 女性の就労観

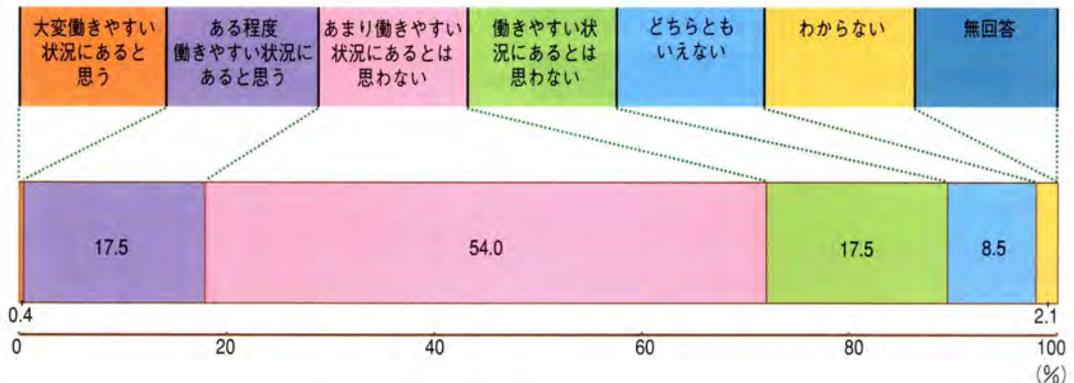
「横浜市女性の就業等に関する調査」(平成7年度・横浜市)



・「女性が仕事を持つこと」については、「職業継続型」(三七・〇%)と「中断再就職型」(四二・五%)に回答が集中している。  
 ・「全般的に女性が働きやすい状況にある」について、肯定的な評価をする人は一七・九%、否定的な評価をする人が七一・五%という結果になっている。

## 女性の就労環境

「横浜市女性の就業等に関する調査」(平成7年度・横浜市)



## 女性と仕事

子育てと仕事を両立させるために、自宅で仕事をするようになってからもう十年になります。実は今、その経験を生かして、在宅ワークの研究会をつくっています。

前に勤めていた会社の人を中心に声をかけ、参加してくれるメンバーを募ったのですが、聞いてみると、「在宅で仕事ができたら」と思っている人は意外に多いんですね。

例えば、親御さんの介護をしたいので、「在宅勤務のシステムがあればいいの」とか「半在宅のような形で仕事できればベストなんだけど」とか。

声をかけた人の年齢もありますが、育児よりも介護が大きな理由のようでした。在宅ワークというと、通勤時間がかからないのが一番のメリットのように思われがちですが、実際には、もっと切実な問題があるんですね。

ただ、みんな、そういうことは個人の問題だから、自分で調整しなければいけないと思っていたらしいんです。例えばほかの兄弟に甘えたり、いざとなれば会社をやめるしかないと思っていたり。だけど、会社にそういうシステムがあって、事情に合わせてそのシステムを利用できれば、本当にいいのと思うんです。

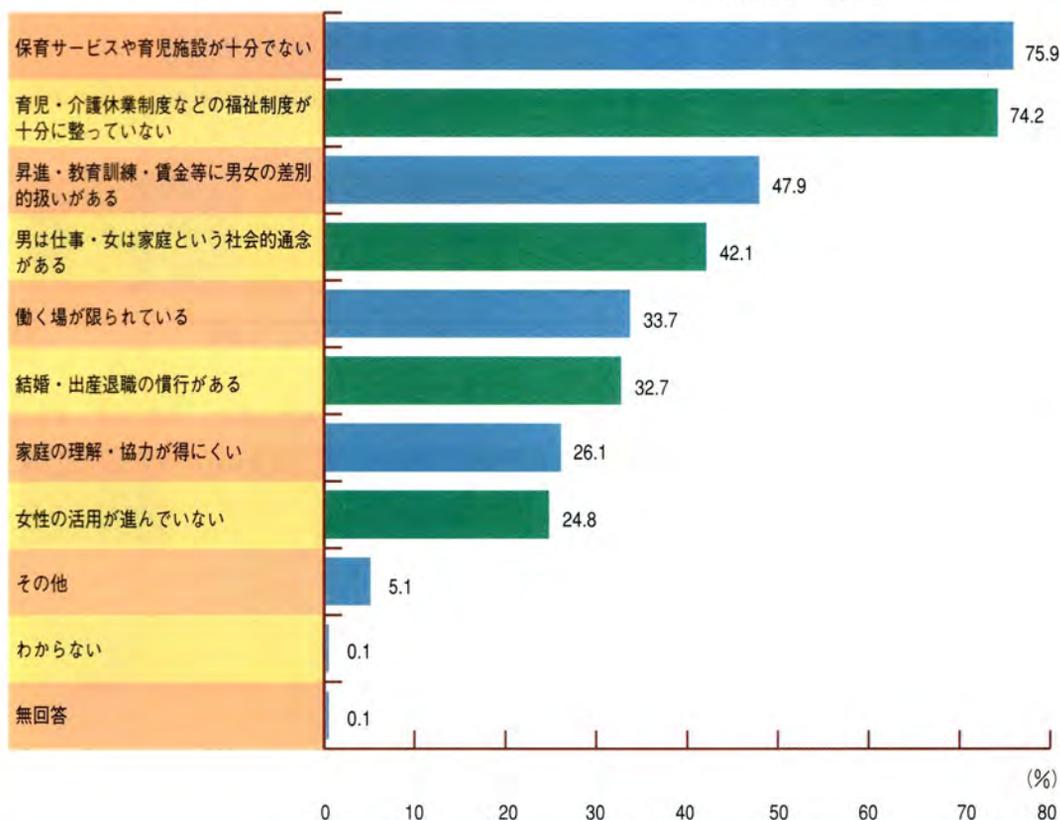
そんなわけで、十数人のメンバーが集まり、月に一回、研究会を開いたり、講師を呼んで話を聞いたりしています。もしも興味をお持ちでしたら、ぜひ一度、参加してみてください。

同封のパフレットは、私がパソコンでつくりました。

(港北区 N・Iさん 三十八歳)

### 女性が働きにくい理由 (複数回答)

「横浜市女性の就業等に関する調査」  
(平成7年度・横浜市)



・「女性が働きにくい理由」は「保育サービスや育児施設が十分でない」が七五・九％でトップ、ついで「育児・介護休業制度など福祉制度が十分整っていない」が七四・二％でそれぞれ七割を越す結果を示した。

## 働く女性の就業支援事業

横浜女性協会では、女性が働き始めるための準備講座から働く女性のネットワークづくりまで、就業・労働に関する各種事業を行っています。

### 起業創業講座

(横浜女性フォーラム)

すでにある会社や組織に雇用されるのではなく、自分のための働き方をつくり出すための講座。自分のアイデアを生かしたお店をもちたい人、自分の会社をもちたい人が起業するためのノウハウを学ぶ入門コースです。

### サロン・ネットワーク

(フォーラムよこはま)

働くことをテーマに、フォーラムに集う方を応援するサロンやネットワーク事業を開催。働く女性の交流組織MMクラブ21、毎月第三水曜のアフター5に水曜サロンがありますので、お気軽にお問い合わせください。

### グループ相談会

(フォーラムよこはま)

医師やキャリアカウンセラーなど専門家の力を借りながら、少人数で相互に語り合い、参加者それぞれが自分らしい働き方、生き方について考える場づくりをめざします。

### 講座ルトラヴァイエ

(横浜女性フォーラム)

長く仕事から遠ざかっていた女性や、職業経験のない女性のための職業計画プログラム。自分の適性や能力を自ら客観的に判断し、最後に自分の職業生活をデザインしてもらうことを目的としています。

### 講座キャリアマネジメント

(フォーラムよこはま)

英国ランカスター大学で開発された方法論を基礎にした、働く女性のためのプログラム。女性が職場のなかで直面する悩みや課題を整理して解決に結びつける、理論的思考を身につけることを目的としています。

### キャリアアップセミナー

(フォーラムよこはま)

コミュニケーションスキル、ディベート技術、社会経済情報分析手法などを学ぶ本格的なビジネスセミナー。ビジネス社会でキャリアアップを考える女性のスキルアップ講座です。

お店オープンのご案内状、楽しく読ませていただきました。三十六名いた受講生の中であなたが一番乗りですね。女性起業家セミナーで一緒に二年。セミナー最後の日、お別れ会を兼ねた昼食にみんなで食べたあなたのお弁当の味、忘れられません。先生の分も含めて三十八個分。時間に間に合わせてしまうあなたの根性。「やってくれるな」の一言でした。

そして、ついに自分の店をオープン。未だに、あーでもない、こうでもないと言いつつばかりしている私が恥ずかしい。そして、ちよつと悔しい。五坪の小さな弁当屋だとあなたは謙遜するけれど、四百万の投資は主婦にはなかなかしんどい金額です。「すごい！がんばったな」と手紙を読みながら、一人で拍手してしまいました。

「安心して食べられる食材の弁当屋が開きたい」が口癖だったあなた。米は青森の低農薬米、野菜は生協の無農薬、魚は知り合いの魚屋。素材にはこだわると言い切る。日替わり六百円では、お得。損してない？

「そのうち、女性が気持ちよく働ける職場にしたいというポリシーを失わずに実現したい」と書いてあったけど、くれぐれも体には気をつけて。

(瀬谷区 S・Tさん 三十二歳)

お元気ですか。結婚退社以来、お互い忙しくて会えないわね。その後も共働きをして仕事を続けているのですか。私も、このままじゃと思い始めています。そこで、長女が中学に上がったのをきっかけに、戸塚区にある女性フォーラムの再就職講座「ルトラヴァイエ」を受講しています。

なぜ仕事をしようかと思うようになったかと言うと、じつは、これまでもなんとなく寂しい気がしていたの。と言うのはね、うちには家族がそれぞれのスケジュールを書くボードがあるわけ。そこに、亭主も子どもたちも、それなりの予定が書き込まれてるのよ。

でも、私は専業主婦でしょ。だから、ほとんど空白なのよ。それを見ると、仕事をしていた時の「時間に追われる」というのが、なんとなく懐かしいというか……。もちろん、仕事なんて誰だっただけなのわかってるんだけど。なんか、ポツカリと空白があるような感じだったの。

講座は三週間。適性、仕事の探し方など様々なカリキュラムがあります。一生懸命勉強し、再出発に備えたいと思います。一度会いたいですね。

(戸塚区 N・Eさん 四十歳)